

オフショアビジネスフォーラム東京 2012



一般社団法人 日本オフショアビジネス協会

「革新的なオフショア開発（ビジネス）への挑戦～ オフショア開発の動向と最先端の取り組み～」

- 参加対象： オフショア（開発）ビジネスに携わる方、オフショア（開発）ビジネスをこれから始める方
- 開催日： 2012年9月14日(金) 13:00-17:55 (開場 12:00)
- 参加費： 日本オフショアビジネス協会会員 無料
一般参加 5,000-
- 場 所： 中野サンプラザ 8階第3会議室
JR 中野駅から徒歩 1分
東京都中野区中野 4-1-1
- 主 催： 一般社団法人 日本オフショアビジネス協会
- 後 援： 特定非営利活動法人 日本プロジェクトマネジメント協会（PMAJ）
特定非営利活動法人 ITコーディネータ協会
- 定 員： 90名（お申込み先着順、申し込み締め切り9月7日）
- 懇親会： 15階リーフルーム 18:30～20:00 参加費 4,000円(当日会場で集めます。)
- 受付開始日： 2012年7月30日

開催にあたって

主催者代表 一般社団法人日本オフショアビジネス協会

会長兼代表理事 権正 治好

「オフショアビジネスフォーラム 2012 in 東京」は、日本のオフショア開発をはじめとしたオフショアビジネス（国際協業）に携わるすべての人々が、一堂に会して最新情報を共有することを目的にしたオフショアビジネスのためのシンポジウムです。

2011年、東日本大地震やギリシャの財政危機からはじまったヨーロッパの経済不安による株安や円高が加速されています。その影響により日本の製造業がアジアを中心とした海外に進出しています。また、アジア市場の拡大にともないアジア市場の拡大を狙いとしたオフショア開発の取り組みがはじまっています。オフショア開発の取り巻く環境が激変しています。

激変に備えるためには、いままで取り組みにとらわれず、新たな取り組みが必要となります。そのため今回のテーマは「革新的なオフショア開発（ビジネス）への挑戦～オフショア開発の動向と最先端の取り組み～」としました。さまざまな企業や団体の全く新しいオフショア開発に対する取り組みを通じ、参加者のみなさまがさらなる新しい取り組みに挑戦していただくことを切に願います。

基調講演には、富士通総研の金先生をお招きして、「アジア経済の動向と今後のオフショア開発や PBO を中心としたビジネスのあるべき姿」についての発表して頂く機会を得ることができました。

さらに、日本を代表する大手企業や学術・研究機関でオフショア人材育成に携わった豊富な経験を持つ先生方の貴重なノウハウに接することの出来るプログラム構成としました。

第一部プログラム

オープニング	1) 本日のスケジュール諸注意事項 2) 主催者挨拶
13:00-13:10	
基調講演	株式会社富士通総研 経済研究所 博士（国際経済法） 主席研究員 金 堅敏氏
13:10-14:10	「成長するアジア市場と統合されるオフショア戦略」 <p>インフラ需要、生産拠点、消費市場として台頭するアジアは世界の成長センターとして注目を集めている。ICTはアジアの持続成長を支えるインフラであり、高成長はICT市場の拡大をもたらしている。今後の拡大し続けるアジア経済の動向とそれを踏まえた今後のオフショア戦略を示唆する。</p>
一般講演	
14:10-15:00	「今後の中国市場を取込む企業戦略としてのオフショア開発の取組み」 <p>2000年問題と共にスタートしたオフショア開発は、初期の混乱を乗り越えて成長期を迎えた。リーマン・ショックをはじめとする経済危機を契機に、ややニーズが変化しつつオフショア開発は第二の成長期を迎えている。同時にオフショアに対してコストのみでなく、中国の市場とのつながりへの関心が非常に高まっている。弊社は1990年代初期からオフショアと中国国内ビジネスをスタートした企業として、今までの経験と今後の取組についてご紹介する。</p>
休憩(10分)	
一般講演	日本アイ・ビー・エム株式会社 ソフトウェア開発研究所 Rational CTO for Asia Pacific 上村 務氏
15:10-15:55	「グローバル開発とソフトウェアサプライチェイン」 <p>今ソフトウェアの開発や調達もグローバル化が顕著になっている。IBMでは開発拠点が世界的に分散化しており、多くの開発は、世界中の数箇所から十数か所が協力して行っている。こうした状況で市場のニーズに合うものを素早く投入するためにジャイル開発を大規模かつ分散開発で進める必要から、新しいプラットフォームであるJazzを構築して利用し成果を出している。またオフショアの広がりや、オープンソースの利用に伴ってソフトウェアの調達が製造業でのサプライチェーンと似た形態になっていくといわれている。最新事例を紹介してこの分野での課題を紹介する。</p>
一般講演	株式会社 ワイズ 代表取締役社長 伊藤 仁士氏
15:55-16:35	「これからの中中国ビジネスを支えるグローバル人材のあるべき姿とその育成について」 <p>アジアのIT企業で働くシステムエンジニアの技術と職業人としての人格向上と地位向上を目指し、彼らの献身と功績がIT環境を享受している人々に広く称えられる道（PM道・SE道）を作る。また時代を牽引するシステムエンジニア達の技術力が人々に称えられ、喜ばれ、感謝される社会を築き、次の時代を担う子供たちにとって魅力的で働きがいあるIT業界作りに貢献するグローバル人材のあるべき姿と育成方法を説明する。</p>
休憩(10分)	
一般講演	亜州ビジネス企画株式会社 代表取締役社長 藤枝 誠氏
16:45-17:25	「インドネシアの最新事情とIT産業の課題」 <p>中国・インドに隠れていたが、確実に成長しているインドネシア経済。自然災害があったタイの影響もあり、日系企業の進出ラッシュに湧いている。その反面で、経済成長に経済のインフラが追い付いていない事情もあるなかで、インドネシアのIT産業、オフショア開発拠点としてのインドネシアについて紹介する。オフショア開発については、中国との違いを比較しながら説明する。</p>
協会案内	日本オフショアビジネス協会 理事 小田 啓二氏
17:25-17:55	「協会の活動状況と今後の活動方針について」 <p>設立後1年を経た協会の活動状況と今後の活動方針、及び会員募集についてご案内します。</p>

第二部懇親会（情報交換会）

中野サンプラザ 15F リーフルームにおいて懇親会を行います。講師と参加者の交流や企業や団体の展示を予定しております。ふるってご参加ください。また、展示を希望する企業団体も同時に募集しております。詳しくは下記の問い合わせ先までお願いします。（参加費、懇親会費込みで1万円）

参加費：4千円（消費税込）

展示企業/団体一覧：募集中

一 参加申込とお問い合わせはこちらへ

参加お申込みページ：http://www.1offshoring.com/tokyo_seminar2012/

お問い合わせ： オフショアビジネスフォーラム東京 2012 事務局

メールアドレス：tokyo@1offshoring.com

電話：045-471-8410（一般社団法人日本オフショアビジネス協会事務局）

一 本オフショアビジネス協会

住所：〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 3-18-5 I'sビル 6F

電話：045-471-8410

ホームページ：<http://www.1offshoring.com/>

フェイスブック：<http://www.facebook.com/obsjapan>

